

100万ドルの夜景と豊かな自然がドラマチックに展開する

香港シャープピーク登頂と ラマ島ハイキング 4日間

発着地 東京・大阪・名古屋・福岡

香港の槍ヶ岳、シャープピーク登頂と車の走らないラマ島でのんびりハイキング。都会と自然が共存する香港をしっかりと歩いて楽しむ企画です。香港ならではのグルメも魅力的な新しいスタイルの山旅です。



出発日～帰国日	東京発着	大阪発着	名古屋発着	福岡発着
2/28(日)～3/3(水)	¥122,000	¥128,000	¥126,000	¥130,000
3/4(木)～3/7(日)	¥128,000	¥134,000	¥132,000	¥136,000

- ※燃油サーチャージ(2009年12月20日現在:目安約3,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内します。
- 利用航空会社:キャセイパシフィック航空、日本航空、全日空
- ツアーリーダー:香港から香港まで同行します。添乗員は同行しませんが、出発日と発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最少催行人数:15人 ●食事:朝3回、昼2回、夕2回
- 利用予定ホテル:香港/ハーバープラザ、シティービュー、ラマダ
- 一人部屋利用追加料金: ¥26,000



▲近代都市と自然が共存する香港



▲まさに香港の槍ヶ岳、シャープピーク

日程	発着地	スケジュール
1	各地 香港	発着 午後、東京(成田)、大阪(関空)、名古屋(中部)、福岡発、香港へ。着後、市内のホテルへ。 機 香港泊 H
2	香港 サイクン半島 シャープピーク登頂	滞在 朝、専用車で西貢半島(サイクン)へ。 ★西灣亭(サイワンテイ)からは美しい海岸線沿いに続くトレイルを歩きます。浜辺の向こうにはこれから目指すシャープピークが望めます。尾根と溪谷が入り組んだ景観を楽しみながら高度を稼ぎ、香港の槍ヶ岳と呼ばれる均整の取れたシャープピーク(468m)に登頂します。北潭凹(パクタムアウ)へ下山(徒歩約5時間)。専用車でホテルへ。 朝(昼)夕 香港泊 H
3	香港 ラマ島 ハイキング	滞在 朝、フェリーでラマ島へ。 ★榕樹湾(ユンシューワン)から自動車の走らない田舎道を歩きます。亜熱帯植物の森から草原を登り、美しい入り江を見下ろす稜線散歩を楽しみながら菱角山(リンコックサン)山頂(250m)へ。その後、索雲湾(ソウコックワン)へと下山します。(徒歩約3時間)午後、フェリーで香港に戻ります。 朝(昼)夕 香港泊 H
4	香港 各地	発着 午後、香港発。夜、東京(成田)、大阪(関空)、名古屋(中部)、福岡着。 朝

※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更されることがあります。

大都市香港の知られざる自然

九龍半島と香港島を中心とした島々からなる香港は、おしゃれなショッピングやグルメの街としてその名を知られています。しかし、香港にはのどかな田園風景のカントリー地帯と、標高こそ高くないものの優れた景観を持つ山岳地帯があることは意外と知られていません。東京23区程の面積の約40%がカントリーパーク(自然公園)に指定され、手厚く保護されています。百万ドルの夜景で有名な香港島にさえ近郊ハイ

キングコースがあります。また周辺の島々には、気軽に散策を楽しめるウォーキングコースから、全長100kmに及ぶ本格的なロングトレイルまで整備されており、都会の喧噪を離れ、豊かな自然を心ゆくまで満喫することが出来ます。のどかな田園地帯から豊かな森を抜け、雄大な海を眼下に眺め、稜線散歩で展望のピークを目指す。そんな香港の山旅をぜひお楽しみ下さい。

サイクン半島

香港の大陸側東部に突き出たサイクン半島は開発の手がそれほど入らず、昔ながらの原生の姿を見せてくれる貴重な山域です。太平洋に面し、美しい海岸線の続く大浪(タイロン)湾から目指すシャープピークは鋭い山容を見せ、連なる尾根と峰々は香港の山岳風景を十二分に堪能させてくれます。



▲タイロン湾越しのシャープピーク

ラマ島

香港の南に浮かぶラマ島は、自動車の走らない島として知られ、香港の中でも昔からの田園風景や自然景観が色濃く残る島でもあります。変化のある地形で豪快な景観を楽しむため、地元香港のハイカーにも人気があります。山上からは美しい海岸線も望め、のんびりとした稜線散歩を満喫できます。



▲ラマ島の美しい海岸線

香港の「山の道」について

高層ビルと豊かな自然の組み合わせに意外性を感じていただくことが、「香港ハイキング」の魅力です。もう一つの意外性は、「山の道」の多くが簡易舗装されていることです。「固められた道なんて歩きたくない。」と最初は感じるのですが、道の周囲は自然のままですから、いつのまにか、足下だけが人工物というおかしな雰囲気は消え去ってゆくでしょう。数が増えたり、大雨でトレイルが壊れたりすることを、足下を固めてしまうことによって解決させてしまうのは香港の合理性の表れなのかもしれません。

せん。とはいえ、上りも下りもあり、滑りやすいところもありますから、ハイカットのハイキングシューズの方が安心して疲労軽減にもなります。



▲香港のトレイルは良く整備されています。



香港ハイキングは楽しい! 岩崎元郎 (無名山塾)

香港ハイキングの魅力は、アプローチの良さ、低山ながら登山意欲を掻き立てる山容、そして歩いた後の香港グルメだろう。香港のハイキングコースはコンクリート舗装されている部分が多いと聞いて、内心、心配に思っていたが、実際に歩いてみたらこれがなかなか歩きやすい。山歩きに馴れていない人でも、安心だ。「シャープピーク=槍ヶ岳」もよい山だ。しばらく森の中を歩き、峠に立つと、目の前に白い砂浜と青い海が広がり、その後ろに目指す

シャープピークが聳えている。標高468mとは思えず、とても格好がよい。山頂からは、空と海が広がる爽快感たっぷりの大展望を味わうことができる。なかなかだ!(地球を遠足・2009年11月実施)

